

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年 5月23日 申込

件名	蛍と神楽の夕べ
日時等	令和元年6月8日(土) 18:30~21:30頃
場所等	麻生地区活性化センター
趣旨、目的	地域の重要文化財である麻生神楽と豊かな緑と美しい水辺にのみ生息し、幻想的な光を放ち乱舞する様子が人々を魅了するホタル。この2つの資源を活用し、観光振興と地域活性化を図ることを目的に開催する。
内容等	麻生地区活性化センターにて、毎年恒例の、麻生神楽のステージが行われます。ゲンジボタルと神楽の幻想的な共演をお楽しみください。 演目 舞立、御先、五大神、小太刀、乱御先、綱御先、大蛇退治 順不同 雨天時は中止となります。
主管者	宇佐市選択無形文化財 郷土芸能保存会 麻生神楽
連絡先	麻生神楽 会長 小野 七生 TEL:0978-36-2202

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年5月21日 申込

件名	院内北山あじさい祭り
日時等	令和元年6月16日(日)10:00~15:30
場所等	宇佐市院内町北山 山神社
趣旨、目的	地域住民のふれあいと地域の活性化(北山集落のPR) ・見頃を迎えたアジサイ、山神社(北山神楽)、石橋(一の橋)、藍染めなど地域の魅力をPR
内容等	<p>お子様お楽しみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくアート体験教室 ※参加費無料先着10名、10:00~11:00</li> <li>・水ヨーヨー釣り</li> </ul> <p>ステージイベント 12:30~</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、シャクナゲ会による剣舞と日舞</li> <li>2、あじさい祭り特別ユニット(ライブ)</li> <li>3、音楽ライブ</li> <li>4、安心院ひよつとこ踊り愛好会</li> <li>5、北山神楽(餅まき有り)</li> </ol> <p>展示スペース ※石橋資料や山野草、藍染を展示</p> <p>当日会場にて販売 あじさい弁当、おこわ、炭酸まんじゅう、コーヒーゼリーなど</p> <p>※北山地区は道幅が狭いので、離合や駐車にはご注意ください!</p>
主管者	主催:両川地区まちづくり協議会
連絡先	両川地区まちづくり協議会 まちづくり部会長 小野正一 090-7922-9043

# 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年5月22日 申込

件名	両合棚田フォトコンテスト
日時等	応募期間 カメラ部門 2019年9月2日(月)～同年10月31日(木) スマホ部門 2019年5月10日(金)～同年10月31日(木)
場所等	両合棚田
趣旨、目的	<p>日本の棚田百選にも選定された院内町余谷の「両合棚田」(りょうあいたなだ)は、かつては多くの写真愛好家が訪れていたが、獣害により耕作地が減少し、荒廃が進みつつあった。</p> <p>このまま荒廃が進んでしまうと再生が難しくなる状況であったが、市が両合棚田を市における世界農業遺産のシンボルスポットに選定したことを契機に、地元を中心に地域団体・行政等が一体となって両合棚田再生協議会を発足、立命館アジア太平洋大学との連携による棚田イベントや地元住民による農泊開始など再生に向けた各種の取組・支援を行っている。</p> <p>今回はその一環として、両合棚田をテーマにフォトコンテストを実施する。両合棚田をテーマとしたコンテストは昨年に続く2回目の実施となります。</p>
内容等	<p>【カメラ部門】【スマホ部門】の2部門でフォトコンテストを実施する。</p> <p>募集テーマ:「両合棚田の四季」          応募資格:日本国内在住のアマチュア          募集作品:平成30年11月以降に撮影された両合棚田の景観・営み          応募方法等:          【カメラ部門】2019年9月2日(月)～同年10月31日(木)(※消印有効)の間に、両合棚田集会所に郵送          【スマホ部門】2019年5月10日(金)～同年10月31日(木)までに、InstagramまたはFacebookで 両合棚田再生協議会公式サイト「Small Cycle Project」をフォローし、ハッシュタグ「#両合棚田フォトコン2019」「#両合棚田」を付けて投稿</p> <p>賞:【カメラ部門】          グランプリ 1点……両合棚田米 30kg、干しシイタケ          準グランプリ 1点……両合棚田米 10kg、干しシイタケ          再生協議会会長賞 1点……両合棚田米 5kg、干しシイタケ          佳作 数点……両合棚田米 3kg、干しシイタケ</p> <p>【スマホ部門】          グランプリ 1点……両合棚田米 30kg、干しシイタケ          準グランプリ 1点……両合棚田米 10kg、干しシイタケ          再生協議会会長賞 1点……両合棚田米 5kg、干しシイタケ          佳作 数点……両合棚田米 3kg、干しシイタケ</p> <p>※干しシイタケは、表彰式参加者のみの副賞です。          ※表彰式(11月の感謝祭にて開催予定)出席者には、地元料理の振る舞いの特典があります。</p>
主管者	主催者:両合棚田再生協議会
連絡先	両合棚田再生協議会 両合棚田フォトコンテスト事務局 (農政課6次産業創造推進係内) 担当:森本(職場27-8156、携帯090-7380-6837)
その他	

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年5月21日 申込

件名	両合棚田 御田植祭
日時等	御田植祭①(対象者:APU学生、南院内小学生) 6月16日(日)9:30集合 10:00開始  御田植祭②(対象者:一般参加者) 6月22日(土)9:30集合 10:00開始(13:00終了予定)
場所等	両合棚田
趣旨、目的	日本の棚田百選にも選定された院内町余谷の「両合棚田」(りょうあいたなだ)は、獣害により耕作地が減少し、荒廃が進みつつあった。 このまま荒廃が進んでしまうと再生が難しくなる状況であったが、市が両合棚田を市における世界農業遺産のシンボルスポットに選定したことを契機に、地元を中心に地域団体・行政等が一体となって「両合棚田再生協議会」を発足、大学との連携による棚田イベントや地元住民による農泊開始、両合棚田専属の地域おこし協力隊による活動など、再生に向けた各種の取組・支援を行っている。その一環として御田植祭を実施する。
内容等	御田植祭①APU学生・南院内小学校生徒 AM 田植え交流(APU学生、南院内小学校生徒と地元住民) 昼食 両合棚田を守る会婦人部による棚田弁当 PM APU学生を対象としたアクティビティー  御田植祭②一般参加者 【参加費】昼食込み ●大人(中学生以上)¥2,000 ●小学生¥1,000 ●幼児無料 【日程】 10:00 開会 10:10 田植え体験 11:30 農作業体験(サツマイモの苗の植え付け) 12:00 昼食(両合棚田を守る会婦人部による「棚田弁当」) 13:00 解散 【集合場所】 大分県宇佐市院内町余 両合棚田 集会所「むっからや」
主管者	宇佐市役所農政課6次産業創造推進係
連絡先	主催者・連絡先 御田植祭①両合棚田再生協議会 事務局(農政課6次産業創造推進係内) 担当:森本(職場27-8156、携帯090-7380-6837)  御田植祭②両合棚田を守る会 事務局 担当:佐矢 090-3730-8498
その他	御田植祭①については、APU学生・児童・地元との交流活動でもあるため、一般参加者は募集していない。詳細決まり次第FAXさせていただきます。  御田植祭②は、一般参加者を募集している。

# 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年 5月 22日 申込

件名	宇佐市成年後見支援センター開設のお知らせ
日時等	開設日 令和元年5月29日
場所等	宇佐市社会福祉協議会 (住所:宇佐市大字閤437番地) 電話0978-33-0725
趣旨、目的	認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方が成年後見制度を適切に利用できるよう支援を行い、これらの方の権利を尊重、擁護することで、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度の利用促進を図ることを目的に「宇佐市成年後見支援センター」開設します。 宇佐市の委託事業として、宇佐市社会福祉協議会が実施します。
内容等	成年後見制度とは？ 認知症等の理由で物事を判断する能力が十分ではない方のために、権利や財産を守る援助者(成年後見人等)を家庭裁判所が選任することで、その方を法律的に支援する制度です。 成年後見人等は、例えば、必要のないものを買わされる消費者トラブルに巻き込まれた場合にその契約を取り消したり、介護保険サービスや老人ホーム入所といった契約行為を行ったりすることができます。 <b>宇佐市成年後見支援センターが行う主な業務</b> ①成年後見制度に関する総合相談窓口 市内在住の個人の方や事業所の職員、既に後見人等されている方などからの相談を受け付けます。 ②申立て支援 ご本人やご家族が行う申立て手続きのお手伝いを行います。
主管者	介護保険課 高齢者支援係 担当:佐藤清一
連絡先	TEL:0978-27-8150 FAX:0978-32-1106

# 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年5月21日 申込

件名	「長洲漁業集落環境整備事業」事業完了式
日時等	令和元年5月30日(木) 13時30分～14時30分(予定)
場所等	宇佐市長洲浜部避難広場(名称:長洲いこいの広場) 宇佐市大字長洲3061番地の2
趣旨、目的	「長洲漁港集落環境整備事業」は密集地の解消と火災や災害、救急対応に備えた環境整備を進めるため、平成11年度に事業開始し、昨年度に整備した「長洲浜部避難広場」の完成により、本事業が完了となりました。 そのため、地元住民や関係者へ事業完了の報告・周知と、これまでの協力に対して感謝状の贈呈を行います。
内容等	完了式 次第 ＜＜13:30＞＞ 演奏 長洲小学校児童 ＜＜13:45＞＞ 1. 開式の辞 2. 主催者代表挨拶 宇佐市長 3. 来賓祝辞 宇佐市議会議長 大分県北部振興局長 4. 来賓紹介 5. 事業経過報告 6. 感謝状贈呈 7. 閉式の辞 記念撮影
主管者	林業水産課 水産係 担当:永松、橋本
連絡先	TEL 0978-27-8164 FAX 0978-32-2331

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年 5月18日申込

件名	東椎屋の滝滝開き安全祈願祭
日時等	2019年 6月 8日 (土) 10:00~11:30頃
場所等	東椎屋の滝 滝つぼ (駐車場から歩いて5分) 宇佐市 安心院町東椎屋 国道500号線に案内看板あり
趣旨、目的	滝を訪れる方々の安全祈願をすると共に、本格的なシーズンである夏の訪れに伴い多くの観光客に訪れてもらえるよう宣伝をする。
内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全祈願の神事 10:00~</li> <li>2. 開会行事 津房小学校児童の合唱 来賓挨拶 等</li> <li>3. 護摩焚き 祈願板奉納 火渡り</li> <li>4. 撮影会 法螺貝演奏撮影</li> </ol> <p>※津房地区まちづくり協議会のおもてなし 紅白餅振る舞い</p> <p>※滝開きウォーク2019 (同時開催) 安心院町若林 集合:若林神社隣(公民館)8:30集合・出発 片道3Km 若林神社→宮崎堰堤→東椎屋の熊野神社→東椎屋の滝(滝開き参加) 解散</p> <p>※なお、6月6日(木)に東椎屋の滝の清掃活動を行います。</p>
主管者	東椎屋の滝 滝開き実行委員会 会長 釜口 孝
連絡先	(一社)宇佐市観光協会 安心院部会 0978-34-4839

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年5月21日 申込

件名	2019年イモリ谷物語じゅうななたび
日時等	令和元年6月9日(日)10:00~13:00
場所等	宇佐市安心院町松本地区(イモリ谷)
趣旨、目的	農家と酒蔵と酒好きが一緒になって米作りから酒作りを体験できるイベントです。 地元のおばちゃんたちの手料理や米から自分で作った酒が飲める楽しみを求めて毎年大勢のお客で賑わいます。
内容等	<p>宇佐市安心院町松本(イモリ谷)において、田植え(6月)、稲刈り(10月)、酒仕込み(11月)、初絞り(12月予定)といった年間を通じた米作りから酒造りのイベントが開催されます。</p> <p>お米を収穫した後は、酒の麴造りや仕込みなどを行います。完成したお酒に自分や家族の写真をパッケージできるマイラベル予約特典もあります。</p> <p>第1弾は、安心院の大自然に囲まれた松本イモリ谷の田んぼで田植え体験を行います。</p> <p>【時】9:00集合・受付 / 田植開始10:00~ 13:00解散予定)</p> <p>【料】参加費:中学生以上:1,000円 小学生:500円 幼児以下は無料 ※募集人員50名(先着順)</p>
主管者	純米酒イモリ谷酒造り実行委員会
連絡先	純米酒イモリ谷酒造り実行委員会 大津 TEL:090-7446-3315



## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和 元年 5月22日 申込

件名	食育体験事業(学校給食用食材に使うためのこの皮むき体験)深見小学校
日時等	令和元年 6月 4日(火) 8時30分～9時25分(予定)
場所等	深見小学校 (宇佐市安心院町矢畑40-2)
趣旨、目的	学校給食課、食育体験事業 宇佐市内の豊富な農林水産物を給食食材として使用すると共に、児童・生徒が、地元宇佐市産の旬の食材等に触れながら、収穫・食育体験をすることにより、給食をより身近に感じてもらい、学校給食を「生きた教材」として活用する。
内容等	南部学校給食センター管轄(9校688名)の学校から希望を募り、参加校を決定。 深見小学校45名が参加(児童34名、教職員11名) 南部給食センター職員2名で対応。 当日は、該当する小学校の体育館を使用し、全体会(クイズや食材の話)、皮むき体験を行う。 むいたたけのこについては、当日に給食の食材として使用される。 たけのこを使用する献立 (たけのこの煮つけ) ※給食開始時間(12時15分～目安)各小中学校でばらつき有 皮むきに使用した食材は、調理後全校に配送する。
主管者	宇佐市教育委員会 学校給食課 南部学校給食センター 担当 : 石川 重利
連絡先	宇佐市立南部学校給食センター 電話 0978-34-2662 FAX 0978-34-2663

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和 元年 5月22日 申込

件名	食育体験事業（学校給食用食材に使うマテ貝採り体験）安心院小学校
日時等	令和元年 6月17日(月) 13時50分～15時40分(予定) ※雨天時中止
場所等	和間海浜公園(宇佐市大字岩保新田129-3) ☎38-5810
趣旨、目的	学校給食課、食育体験事業 宇佐市内の豊富な農林水産物を給食食材として使用すると共に、児童・生徒が、地元宇佐市産の旬の食材等に触れながら、収穫・食育体験をすることにより、給食をより身近に感じてもらい、学校給食を「生きた教材」として活用する。
内容等	<p>南部学校給食センター管轄(9校688名)の学校から希望を募り、参加校を決定。 安心院小学校1、2年生30名が参加(児童27名、教職員3名) 南部給食センター職員5名、林業水産課職員2名、大分県漁協3名の計10名で対応。 当日は、宇佐市所有のバスで安心院小学校から和間海浜公園に向かう。 出発前に栄養教諭による食育指導を実施する。 和間海浜公園で、大分県漁協宇佐支店の本田辰幸氏から海浜公園等の説明、マテ貝掘り名人によるマテ貝の話・職員紹介等のオリエンテーション後、海に移動。 名人によるマテ貝の採り方の指導を受けた後、マテ貝採り体験開始。 採れたマテ貝については、翌日に給食の食材として使用する。</p> <p>マテ貝を使用する献立 (マテ貝のバター焼き) ※給食開始時間(12時15分～目安)各小中学校でばらつき有 採ったマテ貝は不足分を補い、調理後全校に配送する。</p>
主管者	宇佐市教育委員会 学校給食課 南部学校給食センター 担当：石川 重利
連絡先	宇佐市立南部学校給食センター 電話 0978-34-2662 FAX 0978-34-2663

## 宇佐市定例記者会見(5月用)資料

令和元年5月22日 申込

件名	～大豆作りから加工まで～ 「宇佐クロダマル物語」種まき体験 参加者募集
日時等	6月30日(日) 10時30分～13時(受付10時～)
場所等	集合場所:宇佐中学校校庭(宇佐市橋津434) (種まき体験場所:(農)橋津営農組合よりもの郷 圃場)
趣旨、目的	宇佐クロダマル大豆が日本一の生産地として名実ともに地域ブランドとして確立する事を支援する。今年で4年目の取組。
内容等	宇佐特産の黒大豆「クロダマル」の種まきから枝豆収穫(10月)、豆収穫(12月)、豆腐作り・販売体験(1月)までを年間を通じて行うイベント「宇佐クロダマル物語」を実施します。 今回は種まき体験です。 [当日のスケジュール] ・クロダマルの種まき体験 ・クロダマルを使った餅つき ・昼食(北馬城地区まちづくり協議会女性部の手料理)  ※雨天決行
主管者	宇佐クロダマル物語実行委員会 (構成員:北馬城地区まちづくり協議会、橋津営農組合「よりもの郷」、わたなべ豆腐店、味深屋、OOTSU企画(別府市)大津雄慈)
連絡先	宇佐クロダマル物語実行委員会 事務局 北馬城地区まちづくり協議会 担当:岡崎 電話・FAX:0978-37-1054 (電話受け付けはできるだけ9時～12時の間をお願いします。)
その他	[本取組に係る市の関係部署] 農政課6次産業創造推進係 担当:森本(職場0978-27-8156、携帯090-7380-6837)